

イーストスプリング・
 アジア・インフラ株式ファンド
 (3ヵ月決算型) / (年2回決算型)

追加型投信 / 海外 / 株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・アジア・インフラ株式ファンド(3ヵ月決算型) / (年2回決算型)」は信託約款の規定に基づき、2019年8月8日をもちまして繰上償還いたしました。

当ファンドは、主として日本を除くアジア地域におけるインフラ関連企業の株式を主な投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。

ここに、その運用状況をご報告申し上げますとともに、受益者のみなさまのご愛顧に対しまして厚くお礼申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<https://www.eastspring.co.jp/>

[お問い合わせ先]

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス ⇒ 「サイトマップ」を選択 ⇒ ファンド情報の「償還ファンド」を選択 ⇒ 該当ファンドの「運用報告書を見る」を選択

作成対象期間 2019年2月19日～2019年8月8日

(3ヵ月決算型)

第15期 2019年5月20日決算

第16期 2019年8月8日償還

(年2回決算型)

第8期 2019年8月8日償還

(3ヵ月決算型)

第16期末	償還価額	9,502円00銭
	純資産総額	12百万円
第15期～ 第16期	騰落率	1.8%
	分配金合計	0円

(年2回決算型)

第8期末	償還価額	11,527円53銭
	純資産総額	9百万円
第8期	騰落率	1.4%
	分配金合計	—円

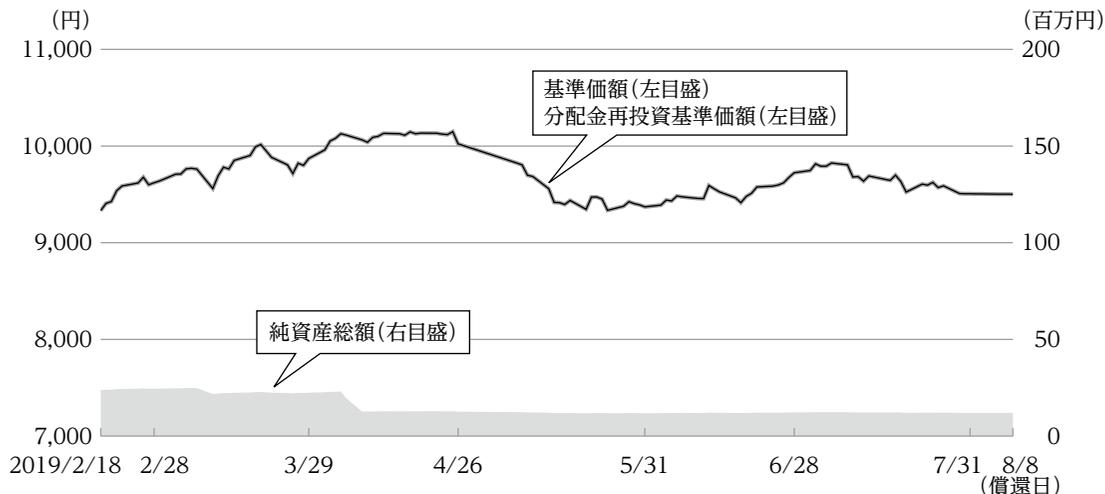
(注)騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

運用経過

(3ヵ月決算型)

基準価額等の推移について

(2019年2月19日～2019年8月8日)



第15期首	9,333円
償還日	9,502円00銭 (既払分配金0円)
騰落率	1.8% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

・保有銘柄の株価が上昇したこと。

下落要因

・多くのアジア通貨が円に対して下落したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2019年2月19日～2019年8月8日)

項目	第15期～第16期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	62円	0.635%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、9,686円です。
(投信会社)	(21)	(0.215)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(39)	(0.405)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.015)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
合計	62	0.635	

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

最近5年間の基準価額等の推移について (2014年8月8日～2019年8月8日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日	2015/9/11 設定日	2016/8/18	2017/8/18	2018/8/20	2019/8/8 償還日	—
基準価額 (円)	10,000	8,012	9,333	9,239	9,502.00	—
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	—
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	-19.9	16.5	-1.0	2.8	—
純資産総額 (百万円)	1	0.8	173	49	12	—

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定当初の元本額を記載しております。

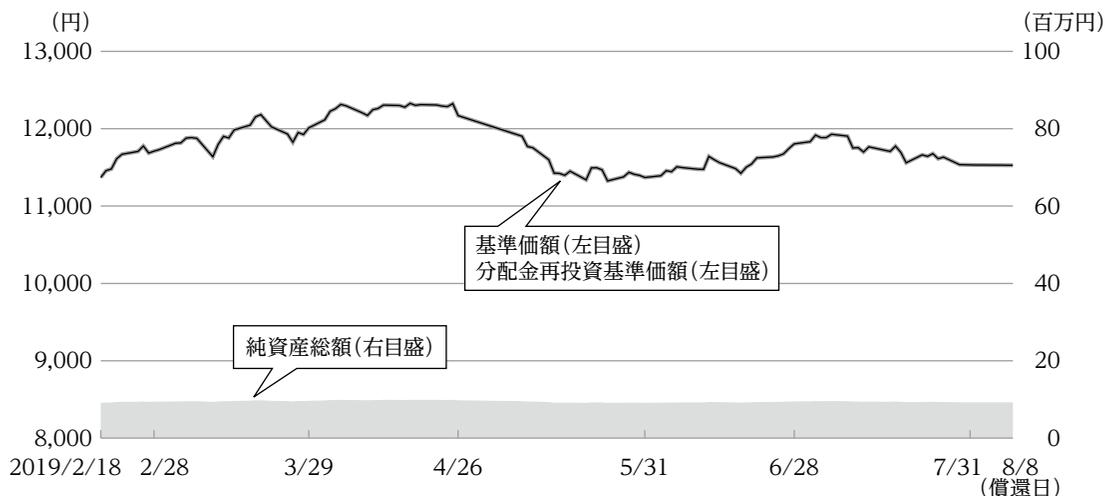
*当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

運用経過

(年2回決算型)

基準価額等の推移について

(2019年2月19日～2019年8月8日)



第8期首	11,370円
償還日	11,527円53銭 (既払分配金一円)
騰落率	1.4% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

・保有銘柄の株価が上昇したこと。

下落要因

・多くのアジア通貨が円に対して下落したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2019年2月19日～2019年8月8日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	75円	0.635%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は、11,766円です。
(投信会社)	(25)	(0.215)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(48)	(0.405)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.015)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
合計	75	0.635	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

最近5年間の基準価額等の推移について (2014年8月8日～2019年8月8日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日		2015/9/11 設定日	2016/8/18	2017/8/18	2018/8/20	2019/8/8 償還日	—
基準価額	(円)	10,000	8,980	11,362	11,235	11,527.53	—
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	0	0	0	—	—
分配金再投資基準価額の騰落率(%)		—	-10.2	26.5	-1.1	2.6	—
純資産総額	(百万円)	1	17	70	41	9	—

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定当初の元本額を記載しております。

* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

アジア株式市場

当（作成）期は米中貿易交渉の行方や米国金融政策の動向などがアジアの株式市場の主な変動要因となりました。業種別の値動きでは、ヘルスケア、エネルギーの下落が目立ちました。

当（作成）期の初めから、米中間で「主要な課題について原則合意に至った」との報道などを受けて、両国の貿易協議が進展するとの期待から、アジアの株式市場は上昇基調で推移しました。しかし、2019年5月には米国による対中関税引き上げの表明や、それに対する中国の報復関税措置など、米中関係の悪化を嫌気して株式市場は大きく下落しました。6月は欧米の中央銀行が金融緩和姿勢を示したことが好感され反発を見せましたが、その後は米中貿易交渉に目立った進展が見られなかったことや、米国の大幅利下げへの期待が後退したことを受けて株式市場は再び下落しました。8月に入って、米国が新たな対中関税の発動を発表するなど、再び米中関係の悪化を嫌気して株式市場は大きく調整し、償還日を迎えました。

為替市場

米中貿易摩擦の長期化が世界経済に悪影響を及ぼすとの懸念から円が買われ、多くのアジア通貨は円に対して下落しました。

国内債券市場

2019年3月に米国が金融政策のハト派姿勢を一段と強めたことから世界的に金利低下圧力がかかり、日本国債利回りは低下（価格は上昇）しました。4月は世界景気減速への懸念が後退し、利回りはやや上昇しましたが、5月以降は貿易摩擦の激化を背景としたリスク回避の動きが強まったことや、米国の利下げ観測の高まりを受けて日本国債利回りは低下しました。さらに8月上旬、米国が追加の対中関税を発表し、世界的な景気減速懸念が強まる中、世界中で債券利回りが大幅低下し、日本国債利回りも低下しました。

ポートフォリオについて

イーストスプリング・アジア・インフラ 株式ファンド（3カ月決算型）／ （年2回決算型）

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・アジア・インフラストラクチャー・エクイティ・ファンド クラスJ（以下「アジア・インフラ・エクイティ」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。なお、2019年7月23日の繰上償還の決定を受けて、組入れファンドの売却を行いました。

アジア・インフラ・エクイティ

日本を除くアジア地域におけるインフラ関連企業の株式に投資を行い、長期的な値上り益の獲得を目指して運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場

全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。当（作成）期は、決算内容が好感された中国（香港上場）のテンセントの保有がプラス要因となりました。一方で、eコマースへの参入を前に小売部門の海外アパレルブランドとの提携が嫌気されたインドのリライアンス・インダストリーズの保有はマイナス要因となりました。

イーストスプリング国内債券ファンド （国債）追加型I（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）
（3ヵ月決算型）

項目	第15期	
	2019年2月19日 ～2019年5月20日	
当期分配金 (円)		—
（対基準価額比率） (%)		—
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		829

（年2回決算型）

該当事項はありません。

（注1）「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）—印は該当がないことを示しています。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドにつき一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

お知らせ

該当事項はありません。

当ファンドの概要

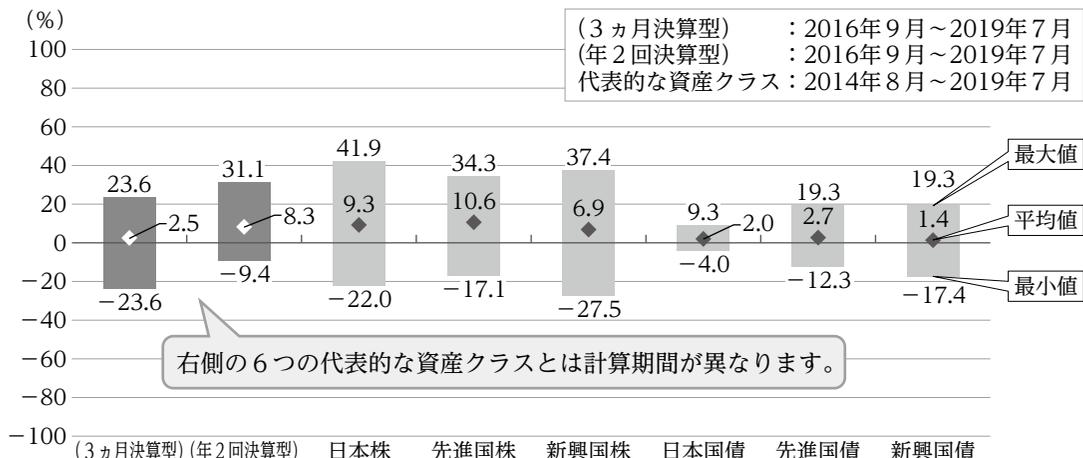
商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2015年9月11日から2019年8月8日（当初、2025年8月18日）まで
運用方針	主として日本を除くアジア地域におけるインフラ関連企業の株式を主な投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・インフラストラクチャー・エクイティ・ファンド クラスJ」の投資証券（米ドル建て）およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	（3ヵ月決算型） 原則として毎年2月、5月、8月、11月の各18日（休業日の場合は翌営業日） （年2回決算型） 原則として毎年2月18日および8月18日（休業日の場合は翌営業日） 各ファンドの決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

指数に関して

当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」のベンチマークについて

ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

(参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数 (TOPIX) の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J.P.モルガンGBI-E Mグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

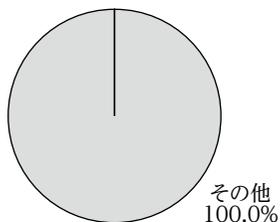
(3ヵ月決算型)

当ファンドの組入資産の内容

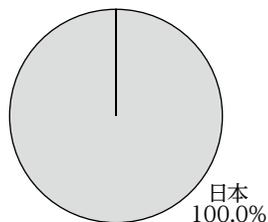
組入ファンド

2019年8月8日現在、有価証券の組入れはございません。

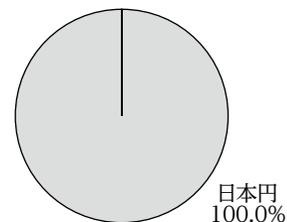
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目		第15期末 2019年5月20日	償還日 2019年8月8日
純資産総額	(円)	11,808,338	12,004,931
受益権総口数	(口)	12,634,114	12,634,114
1万口当たり基準価額	(円)	9,346	9,502.00

* 当作成期中 (第15期～償還日) において追加設定元本額は0円、一部解約元本額は12,832,515円です。

ファンドデータ

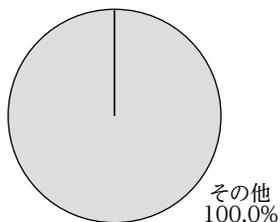
(年2回決算型)

当ファンドの組入資産の内容

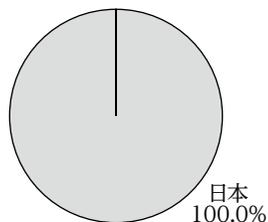
組入ファンド

2019年8月8日現在、有価証券の組入れはございません。

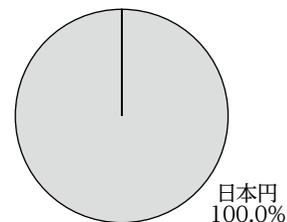
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目		償還日 2019年8月8日
純資産総額	(円)	9,257,547
受益権総口数	(口)	8,030,814
1万口当たり基準価額	(円)	11,527.53

*当期中において追加設定元本額は0円、一部解約元本額は0円です。